

いくさか 議会だより

令和6年9月定例会号

No.

167

令和6年(2024)
10月20日 発行

委員会報告	P4-5
一般質問	P6-10
議員提出第2号	P11



池坂やまびこ会 池田ハーブの里にて

9月定例会の流れ

10日 開会
本会議

11日
一般質問

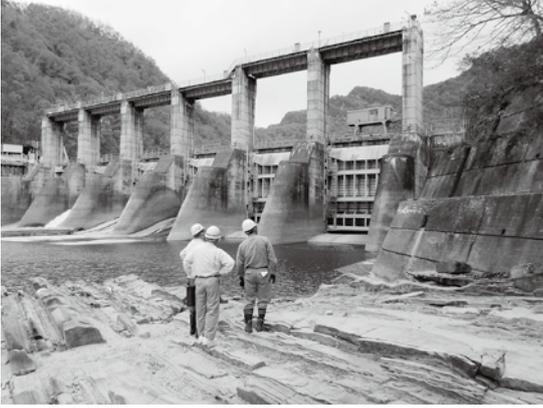
12日・13日
常任委員会

19日 閉会
本会議

議案等の審査結果

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…除斥 議長…※

令和6年9月定例会 審議した議案との結果		審 査 結 果	島 幸 恵	山 本 吉 人	藤 澤 幸 恵	望 月 典 子	宇 引 文 威	平 田 勝 章	吉 澤 弘 迪	太 田 讓	
報 告	令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資 金不足比率の報告	報告	—	—	—	—	—	—	—	※	
	令和5年度公益財団法人生坂村農業公社の経営に関する書類の報告	報告	—	—	—	—	—	—	—	※	
	令和5年度社会福祉協議会の経営に関する書類の報告	報告	—	—	—	—	—	—	—	※	
	令和5年度株式会社いくさかてらすの経営に関する書類の報告	報告	—	—	—	—	—	—	—	※	
	令和6年度生坂村一般会計補正予算【第2号】(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	※
事 件 案	松本広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村認知症対応型デイサービスセンターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
決 算 認 定	令和5年度生坂村歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	※
条 例 案	生坂村保育所条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
補 正 予 算	令和6年度一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村営バス特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
陳 情	母(王乖彦 <small>おうかいげん</small>)が中国で不法に逮捕されている件に関する要望	資料配布	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	刑事訴訟法の改正によるえん罪被害者の速やかな救済を求める意見書提出についての陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	在沖繩米軍兵による少女誘拐・暴行事件に抗議し、日米地位協定の改定を求める陳情	継続審査	×	○	○	○	○	○	○	○	○
追 加 議 案	建設工事請負契約の締結について (生坂村防災行政無線(同報系) デジタル化改修工事)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	建設工事請負契約の締結について (生坂村脱炭素先行地域自営線マイクログリッド構築事業)	承認	×	○	○	○	○	○	○	○	※
	県道上生坂信濃松川停車場線(県道275号線)のトンネル整備を求める決議について	決議	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	刑事訴訟法の改正によるえん罪被害者の速やかな救済を求める意見書の提出について	提出	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書の提出について	提出	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書の提出について	提出	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	私立高校への公費助成に関する意見書の提出について	提出	○	○	○	○	○	○	○	○	※



脱炭素関係（調査設計業務）63,998千円



4年振りの開催となった赤とんぼフェスティバル
11,917千円（赤とんぼ+花火）

予算執行上の大きな不用額は年々改善されています。

今後とも不用額が見込める場合には、その都度補正するなど早目に対処し、他事業への財源とすることを検討していただきたいと思えます。

自主財源である村税は、若干増額となりましたが、依然として国や県からの交付税などに依存した状況は否めないところであります。

脱炭素事業は村民から注目されている事業ですので、しっかりとした事業運営や事業執行ができるようお願いいたします。ふるさと応援寄付金について、財源効果は顕著であります。今後一層増加につながるよう対応の検討をお願いしたい。

今後、水道・学校（教育）・公共施設の改修など多額な財源が必要となることが予想されるため、計画的な財政運営に知恵を尽くして努力していただくことを望みます。

今後とも健全な財政運営に配慮しつつ、財源の有効的な活用を心がけ確実な事業執行ができることを願い、報告といたします。

代表監査委員 池本 貞夫
議会選出監査委員 吉澤 弘迪

令和6年度補正予算の内容(主な収支)

※数値は四捨五入

一般会計

〈補正額〉6,591万円

〈総額〉33億7,242万円

歳入	
地方特例交付金	-20万円
地方交付税	2,694万円
分担金及び負担金	33万円
国庫支出金	541万円
県支出金	261万円
諸収入	801万円
村債	2,281万円
計	6,591万円

歳出		
総務費	2,058万円	公共施設等修繕 98万円 地域おこし協力隊関係 1,450万円 調整給付金関係 191万円 ほか
民生費	479万円	就労センター指定管理委託 261万円 障害者自立支援給付審査支払システム改修 151万円 ほか
衛生費	390万円	新型コロナウイルス感染症予防接種関係 390万円
農林水産業費	115万円	農産物加工施設冷凍コンテナ更新工事 209万円 ほか
土木費	2,263万円	村単道路維持補修工事費 2,000万円 住宅リフォーム補助 110万円 ほか
消防費	534万円	退職団員報償費 435万円 ほか
教育費	81万円	給食センター厨房機器消耗品 50万円 ほか
災害復旧費	671万円	農地災害復旧工事(宇留賀) 671万円
計	6,591万円	

村営バス特別会計	
補正額	70万円
収支総額	4,870万円

介護保険特別会計	
補正額	1,435万円
収支総額	30,155万円

総務建経常任委員会

連合審査報告

松本広域連合規約の変更について

問 人口割に変更することによって変わるのか。

答 村の消防費負担金が少なくなくなり財政負担が減少する。

生坂村認知症対応型デイサービスセンターの指定管理者の指定について

問 はるかぜを利用した住民サービスをしていくのはいいが、社協の収益を出していいのか。また地域への説明も必要では。

答 令和8年4月から重層的支援体制整備事業をしていきたい。その中心拠点としてはるかぜを利用していきたい。これから1年半かけて収益の出せる事業内容を検討していく。また地域の方にもこれからのはるかぜの利用について説明していく。

令和5年度生坂村歳入歳出決算の認定について

村内林業構築の調査（ペレット原料の伐採・山林整備）についての付帯意見

① 山林の伐採にあたっては山林の

土砂崩落、流出など災害発生に留意すること。

② 住民の水道の水源地・天然記念物・文化財遺跡に支障のないよう配慮すること。

③ 希少動物の生息・希少植物の植生に配慮し景観と自然保護に留意すること。

④ 住民の家屋・田・畑・構築物・道路など生活関連施設への被害防止に留意すること。

⑤ 登山道・鳥獣害防止柵・墓地・電気通信施設を破壊しないよう留意すること。

⑥ 木材の伐採と山林整備にあたっては該当区域の住民と事前に計画の説明と話し合いを実施すること。

総務課関係

意見

提案した附帯決議の内容の通り自然、文化財を大事にしながら脱炭素事業を進めてもらいたい。森林調査では70年分の資源があるということなので、適正な使用をしてもらいたい。

村営バス特別会計（質疑なし）

財産に関する調書（質疑なし）

振興課関係

問 いくさかの郷の生産者の手数料を村内と村外で差をつけては。

答 規約の見直しも含め検討していく。

問 道の駅の電気料金の変動が大きい。

答 トイレ暖房の温度調整を勝手に上げる使用者があり電気料金が高くなっている。現在は外部から操作が出来ないように対応している。

簡易水道特別会計（質疑なし）

農業集落排水特別会計

問 水道関係の不納欠損はどのくらいなのか。

答 上水道については条例化して対応していく。下水道については現行のまま処理対応していく。

令和6年度生坂村一般会計補正予算（第2号）

総務課関係

問 振込手数料が上がっているが。

答 JAの手数料の見直しがあり金額が上がっている。

振興課関係

問 交換する冷却ユニットのスペックは。

答 今までより性能が高い物を入れる予定。

問 何度も崩れている高鼻地積について現在の工事内容で大丈夫か。

答 今回は崩落現場の下から適切な地盤工事しているので大丈夫。

令和6年度生坂村営バス特別会計補正予算（第1号）（質疑なし）

陳情

・母（オウカイゲン）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望

（国家間の問題であり地方議会が介入出来るものではないと判断し、資料配布）

・刑事訴訟法の改正によるえん罪被害者の速やかな救済を求める意見書提出についての陳情

（意見書提出）

・在沖縄米軍兵による少女誘拐・暴行事件に抗議し、日米地位協定の改定を求める陳情

（継続審議）

社会文教常任委員会

連合審査報告

長野県後期高齢者医療広域連合 規約変更について

問 マイナンバーカードに保険証機能をつけている人の割合は。

答 各保険者が違うので把握できていない。県の後期高齢者のマイナ保険証所持率は53%。

問 紙の保険証の代わりとなる資格確認証は、全員に送付されるのか。

答 マイナ保険証があっても、カードに対応していない医療機関、または機械に不具合がある場合などのため、全員に送る予定。

令和5年度生坂村歳入歳出決算 の認定について

住民課関係

問 就労センター委託料の決め方は。

答 見込める金額の不足額、見込める県からの補助金から決めている。

健康福祉課関係

問 新型コロナワクチンを、どのくらいの方が接種したか。

答 延べ人数で個別接種が1111人、集団接種が1196人。

福祉センター特別会計

問 客数がコロナ禍前に戻り、村からの繰入金が前年度比320万円ほど減った。更に客数を増やす工夫は。

答 料理やイベントなど工夫はしている。水曜日休みのためか、宿泊客が増えない。発信を工夫していく。

国民健康保険特別会計(質疑なし)

介護保険特別会計(質疑なし)

後期高齢者医療特別会計

問 介護予防ケアマネジメント事業費が、前年度比約2倍になった訳は。

答 介護度が比較的軽い方が増えているため。

生坂村保育所条例の一部を改正 する条例案について

意見 条例内の不適当な文言が、県からの指摘時に削除できていなかった。今後再発のないよう注意願う。

生坂村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について

問 条例改正で配置基準が改善される。保育士数は足りるか。

答 生坂村の配置基準はもともとの国の基準より少なく、問題なく足りる。

生坂村国民健康保険条例の一部 を改正する条例案について

問 改正後保険料を滞納しても、資格確認証の返還を求められることはないのか。

答 これまでは保険料滞納の場合、保険証の返還を求めたり、期限付きの保険証を出して役場に支払いに来ていただいたりした。資格確認証は期限がなく、返還も求めない。

令和6年度生坂村一般会計補正 予算(第3号)について

健康福祉課関係

問 生前意思表明に関する講演会では終末医療だけではなく、遺言書についても話すなど、住民課とも連携して進めるべきでは。

答 医師会と協力し、ご本人の意思を示す入口として計画している。講演後、反省点など次回に生かす。

問 新しいコロナワクチンが出ている。秋からの接種はどのようなワクチンが使われるか。

答 医療機関での個別接種なので、どのワクチンかは医療機関による。

問 ワクチンで後遺障害が残った方が近隣市町村にいる。接種に伴うリスクについても広報しては。

答 村の立場としては、国で認可された薬は同じように扱い広報する。

教育委員会関係

問 見直される男女共同参画計画は、社会情勢に合うものになるか。

答 アンケートは委託業者が国や県の施策、近隣町村の状況等確認するので、国・県の施策と乖離しない。

令和6年度生坂村介護保険特別 会計補正予算(第1号)について

令和5年度給付費が見込みより低かったため、補助金を返還する。

陳情

・国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情書について
・政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情について

・私立高校に対する公費助成を願う陳情書について

【いずれも陳情内容の趣旨に賛同し、国・県に意見書を提出すべきと決定】

一般質問

9月
定例会

村政そこが知りたい!!



8名の議員が一般質問



一般質問とは…「議員がフリーテーマで執行部に質問・提案を行う場」で、議員独自のカラーが出せる貴重な機会です。村民の生活に関わる様々な声を村政に届け、議論が行われます。※質問は一般事務に限ります。

7P〔上〕 吉澤^{ひろみち}弘迪 議員

○生坂村のふるさと納税について

7P〔下〕 字引^{ふみたけ}文威 議員

- 災害発生時の生活用水の確保について
- 簡易水道施設老朽管新対策並びに小規模集落への水循環システム導入について

8P〔上〕 藤澤^{さちえ}幸恵 議員

- 子宮頸がんワクチンについて
- ごみの減量化、再利用、再資源化について

8P〔下〕 島^{ゆきえ}幸恵 議員

- 情報公開について
- 脱炭素事業について
- 遊休農地の利用について

9P〔上〕 望月^{のりこ}典子 議員

○親子山村留学の受入れについて

9P〔下〕 平田^{かつあき}勝章 議員

- 昭和時代の民俗文化財について
- 中学校開校80周年記念行事開催実施について

10P〔上〕 山本^{よしと}吉人 議員

○やまなみ荘周辺のスポーツ施設、公園の維持管理について

10P〔下〕 太田^{ゆずる}讓 議員

- いくスポについて
- 脱炭素先行事業について
- グリーンスローモビリティについて

QRコードを読み込むと
一般質問が見られます



傍聴もできますので、
お越し下さい。



吉澤弘迪議員

ふるさと納税が減少している原因は

総務課長 ぶどうの競合、
目あたりしさに欠けてきた



問 村はポイントを加算するサイトを通じて、ふるさと納税を募集しているが令和7年10月からこのサイトの使用が禁止されるがその影響と今後の対策は。

総務課長 ポイントが付与されない場合の寄付件数の減少が一番心配。ポータルサイトの委託料が減額されればその分を返礼品の調達費用に充てることができるがあまり期待できない。今後国の動向や各サイトの扱いに注意したい。

問 池田町ではサイトを拡大して7社体制として返礼品の拡充を図った結果ふるさと納税の収入額が増加したとの報告があるが。

総務課長 サイトの拡充は人々の目に留まることが大切であるので有効である。当村も令和5年度から8社と契約を行っている。返礼品の拡充については、新たにエシキベースやパラグライダー・ラフティングの体験野菜や山菜の詰め合わせなどを考えている。

問 ふるさと納税で寄付したい人はサイト内の各自治体の掲載記事で寄

付するので、その記事は応援したいと思つものではなくてはならない。記事や返礼品に工夫をこらして、ふるさと納税の収入額を増加させるためにプロジェクトチームを結成して、対策を考えることを提案するが。

副村長 収入額を増加するためにはサイトの拡充や返礼品の拡充の検討を行うことが必要で、その際プロジェクトチームを結成して検討することも一案である。総務課と検討し対応したい。

問 企業版ふるさと納税では寄付を受けたと思う自治体と寄付をしたと思う企業とのマッチングが必要でその際に企業に村のPRをするために村長によるトップセールスを提案するが。

村長 当村は脱炭素事業や第2のふるさとプロジェクトなど大型で社会にも注目される事業に取り組みを進めており企業にも関心を持ってもらえることが多くある事が強みである。国に企業を紹介してもらい早期に企業に会って村のPRをし協力してもらつ機会を作りたい。



字引文威議員

災害時の生活用水確保について

総務課長 「WOTA BOX」導入について県と相談しよう



個室シャワー「WOTA BOX」

問 災害時に有効な水循環浄化ユニット「WOTA BOX」購入

自治体との連携で、緊急給水対応を補完しあえる体制は地震列島には必要な連携体制ではないか。救済資機材のひとつに加えられることを提案するが。

総務課長 これまで飲料水に比べ生活用水に対する意識は低かったといえ、村の地域防災計画ではふるの残り湯の活用を習慣づける、自家用井戸等について、その維持、確保に努めるとされているが、住民の皆さんに十分浸透していたと

は言えないと考えおり、啓発に努めていく。水循環浄化ユニットについて、広域連携も視野に入れたご提案であり、県と相談していく。

問 「WOTA 水循環システム」はライフレインの小規模分散化にも対応しやすいシステムであると説明を受けている。今後当村の簡易水道事業の給水方法の見直し等検討しては。また、脱炭素事業の「創造の森に建設予定のオフグリッドハウス」の水利用にも生かせるのでは。

村長 更新投資需要の増加により水道財政収支のバランスがより一層厳しくなっている。創造の森に建設予定のオフグリッドハウスへの給水手段として、「WOTA 水循環システム」は再資源の観点から有効。山間部の集落や小規模集落での給水が可能なのか、効率的かつ効果的な手段を、当簡易水道有収率対策プロジェクト会議で検討し、次世代が安全で安心して水を使える持続可能な社会の実現を目指していく。



島 幸恵 議員

村役場の仕事と会社の業務は
しっかりと線引きをするべき
副村長 職員に負担をかけず、
私が処理できるものはしていく



問 ゼロカーボン事務局に質問した

が「議員として議会の一般質問を通して質疑をお願いしたい」と、回答されなかった。質問に答えてほしい。

村長 質問に対してお答えする時間、公文書関係の質問への職員の仕事量は大変な量なので、個々に質問せず、議長を通していただきたい。

問 令和5年度の脱炭素事業に関わる調査・設計の成果報告書概要は村民にも示されるか。

総務課長 ホームページなのか図書室に置くのか、公開は考えている。

問 役場職員、議員も出席するゼロカーボン推進プロジェクト会議で株いくさかてらすの電気料金について話し合わせ、脱炭素説明会で、村づくり推進室長が電気料金の説明をした。これは職務専念義務違反では。

総務課長 村が進める事業の協議をする場で、村がなすべき責を有する職務にあたり、特に問題はない。

問 いくさかてらすと17年契約を結び、10年残して解約した場合、違約金が7〜80万円くらいと回答された。契約内容は広報するか。

副村長 違約金、広報については、取締役会議で検討して対応する。

問 75才以上だけの世帯割合は。

住民課長 75才以上だけの世帯は49世帯6.9%、75才以上の独居世帯は113世帯、15.9%。

問 太陽光発電設備や蓄電池が設置できる世帯とできない世帯で、税金の使われ方に差が出る。脱炭素事業で、75才以上への利点は。

副村長 この世代の方へ、何らかの利便性がとれるよう検討している。

問 マイクログリッドの事業費は。

総務課長 令和5年の調査計画費1727万円と、今年度からの債務負担行為上限8億8800万円を合わせた9億527万円。

問 米不足、米の値上がりが報道されている。食料自給率をあげることが大切と考える。田畑を守り、生かすことについて村の考えは。

振興課長 村として地域ごとの課題等に対してサポートするのとともに、条件整備等の支援をしていく。



藤澤 幸恵 議員

学校教育の場で子宮頸がん・子宮頸がん
ワクチン正しい知識を得る機会を
健康福祉課長 関係部署と検討する



子宮頸がんワクチンについて

日本で毎年新たに1万1千人の女性に見つかる子宮頸がん。子宮頸がんワクチンは、ガンそのものを予防する効果がある。

問 生坂村の子宮頸がんワクチン接種対象者(中学1年〜高校1年)の接種率は。

健康福祉課長 令和4年度2名6%。令和5年度2名7%。令和6年度4名8%(予定者含む)

問 生坂村は定期接種を推奨する考えか。

健康福祉課長 村としては出来るだけ接種を受けていただきたいと考える。未成年者の接種には保護者の同意が必要なので保護者の正しい判断が必要と考える。

問 本人と保護者が子宮頸がん子宮頸がんワクチンの正しい知識を学ぶ機会を学校での性教育、保健の授業など教育の場でつくるのが大事と考えるが。

健康福祉課長 関係部署と検討する。

ごみの減量化・再利用・再資源化について

問 生坂村ではごみの減量化、再利用、再資源化を進めている。その成果と検証は。

住民課長 可燃ごみの減量化を図るために生ごみ処理機やコンポストの購入補助を進めている。ここ数年、生ごみ処理機1件、コンポスト2、3件の申請がある。種高クリーンセンターへのごみの搬入量は230tから250t。令和6年度は若干増加している状況。一層の普及啓発が必要。

問 住民一人一人のさらなる意識を高めるために考えていることは。

振興課長 広報による家庭で出来る具体的な取り組みの紹介、また、リサイクルしやすい環境づくりのため、ごみの収集、資源物の回収等についても見直しを検討する。





平田勝章議員

昭和時代の民俗文化財を
後世に残す考えは
教育長 所有者や地域で守り
継承していく意識の醸成も必要



問 有形文化財、無形文化財、民俗文化財を今後残すための基本理念と基本方針は。

教育長 村独自に基本理念、基本方針は定めてはいない。ただ人口減少や高齢化により管理が出来なくなっている。

問 文化財委員は専門の人を選ぶことや報酬の見直しも必要。また懇談会やアンケート等の実施も必要では。

教育長 委員の選出方法の見直し、適任者の発掘や育成などと共に他の審議会委員の報酬額や予算の増加などを見て慎重に検討したい。

懇談会やアンケートの実施については文化財に対しての村民の理解や協力が必要。冊子を作るには、今ある冊子の活用から始め、住民の文化財に対して理解を深めていくことが出来ればと考えている。

問 文化財保管に「星亭」の活用を考えてはどうか。

教育長 有形民俗文化財は衣服や生活の中で使用したものなど多岐にわたることや、保管の基準を作ることも含めて「星亭・再生プロジェクト」で提案内容も含めて検討する。

問 山清路の郷資料館は、学校や職員、

村民が積極的に活用したり、上生坂の資料館は一部を昭和時代の電気製品や文化祭の出品物を一定期間展示してみてもどうか。

教育長 上生坂の資料館に昭和時代の物の展示については研究したい。

問 文化財の収集も難しいので、まずは写真などで撮り、データ管理する方法も考えられるが。

教育長 収集や保管には場所、経費、労力などが考えられる。デジタル化の活用も検討していきたい。

生坂中学校開校80周年記念行事開催実施に向けて

問 同窓会が主体で計画実施を望むところだが、同窓会活動がない状況。村や教育委員会が先頭に立って役割を行うべきと考えるが。

教育長 開校記念行事は学校と地域の絆を深めるよい機会であると共に在校生にとってもよい機会であるので、中学校の教員やPTAなどにも投げかけていきたい。

村長 中学校では小学校のように記念行事は行われていない。趣旨は理解できるが、同窓会、中学校教員、PTAなどと相談するのが良いのではと考えている。



望月典子議員

親子山村留学の受け入れについて
村長 教育委員会と一緒に
考えていければと思う



問 親子山村留学の受け入れを提案するが役場にその窓口を設置する考えは。

教育長 山村留学は都市部の子供たちが自然豊かな農山村地域の共同宿泊施設や農家などで暮らし、地元の学校に通いながら自然や生活を体験する取り組みである。全国に先駆けて旧八坂村（現大町市八坂）で始まり、県はそれを「信州自然留学」と名付け、現在は下伊那郡平谷村、北相木郡相木村等17団体が山村留学を実施している。山村留学で都市部の児童生徒と共に学び、交流することで当村の児童生徒の人間関係作りや成長の面でも教育上の効果が期待出来る。また、複式学級の予防にも繋がるかもしれない。こうした効果を考えると「山村留学」は大変魅力的な取り組みであると感じる。

村長 長野県によると、新型コロナウイルスの影響で地方回帰志向が強まり、山村留学の希望者は2008年度の115人から2022年には172人と、親子も含めた山村留学には一定の需要が認められる。また、中山間地域の小規模自治体では親子留学をお試し移住に位置づけ、移住につなげるといったことも期待できる。一方で教育環境のほか、住居、親の就業先、受け入れ団体の整備等検討が必要な事項も多い。また、生坂村の特徴、特色をどう出していくかも重要なことである。地域住民の関わりや協力も必要になると思うので、今後、村が進める地域振興施策の中で教育委員会と一緒に考えていければと思う。

問 村長も移住に繋がる期待もある、と答弁されている。先の事ばかり心配するよりまずは第一歩を踏み出してみてもどうか。受け入れ窓口を創り、親子留学を念頭に置いた体験ツアーを実施するのはどうか。

村長 村は年3回農業体験ツアーを実施している。そこへ参加している親子連れに留学の話をするのも一考だと思うが、教育委員会の協議の場で検討したい。



山本吉人 議員

やまなみ荘周辺のスポーツ施設、公園の今後の維持管理は、**教育長** スポーツ・運動活動等のため、**安心・安全に利用できるように維持管理していく**



問 テニスコート（オムニーコート）に亀裂が入った状態で長く放置されている。修繕の予定はあるか。また、定期的にコート状態をチェックしているか。

教育次長 4面あるテニスコートの内、1面で亀裂箇所があることを確認した。現在まで定期的なコート状態のチェックをしていなかった事は事実。これからは定期的にチェックをおこなう。亀裂箇所については適切な修繕方法で対応していく。

問 総合グラウンドの照明で水銀灯が長期間切れたままだが、修繕の予定は。

教育次長 照明は6基あり、2基が漏電により使用不可。水銀灯は法律により使用の制限や輸出入・製造が禁止されているため、交換することができない。対応として脱炭素事業に合わせ、水銀灯をLED化していく予定。

問 マレットゴルフ場の芝生等の管理、整備があまりできていないように感じるが。

教育次長 シルバーセンター、いく

さか大好き隊員、社会教育係の職員により、草刈り等、整地作業を実施している。管理等実施しているが、天候の影響で草の成育が早くなり、草刈り等の整備作業が追いつかない場合もあると認識している。今後もしっかりと維持管理に努めていく。

問 時代の流れに沿ったスポーツ施設、公園のあり方を検討していくべきでは。

教育長 現在のところスポーツ施設、公園の具体的なあり方は検討していない。

問 施設等造った後の維持管理が一番大切では。

教育次長 施設の維持管理をしっかりやっていく。



太田譲 議員

「地域の課題解決と脱炭素推進に向け**企業と取組む考えは**」
村長 「企業の協力は必要と考える」



企業との連携について

問 実証実験したEVカートは化石燃料に頼らないECOな車両。登坂も力強く、急な下り坂も速度制御で安定走行ができる。充電も家庭用コンセントで出来使い勝手も良い。先進自治体では地域の足・観光の移動手段などで導入されているところも増えてきているが。

村長 EVカートは、カーボンニュートラルに繋がっていくので、免許返納した方や交通不便者の対応など、関東化成工業株式会社と協力をいただいで研究できたらと考える。

小型EV 生坂で実証実験
交通弱者対策など模索
太田譲議長がメーカーと

生坂村議会議員の太田譲さん（50）一丁生野一は、ゴルフカートベースとしたユニークな小型電気自動車（EV）を県外メーカーから借り受け、5月12日まで約1カ月かけ、村内の交通弱者対策などに活用できないか実証実験を進めている。寒い道が入り組んだ山間地の村内を走り回って使いたい等を確認し、メーカーと活用先を共有する考えだ。（小野井貴之）



小型EVは、自動車免許がなくても運転できる。また、充電も家庭用コンセントでできる。急な下り坂も速度制御で安定走行ができる。充電も家庭用コンセントで出来使い勝手も良い。先進自治体では地域の足・観光の移動手段などで導入されているところも増えてきているが。



関東化成工業株式会社と開発中の農業用カート

PPAにUN

問 屋根への設置困難な家屋もある。カーポートタイプの架台にすれば、パネル下のスペースの有効利用や降雪時の雪かきの負担も軽減する。オンサイトPPAの普及も見込めるが。

村長 オンサイトでの設置手法として、カーポートは有効な手段であると考えている。村と「くまがた」で充分な調整を行って、方針を決定していきたい。

議員提出第2号

県道上生坂信濃松川停車場線(県道275号線)のトンネル整備を求める決議書

生坂村議会会議規則第13条の規定により、上記決議を別紙のとおり提出する。

令和6年9月19日

提出者	生坂村議会議員	山本 吉人
賛成者	生坂村議会議員	藤澤 幸恵
	//	望月 典子
	//	太田 譲
	//	字引 文威
	//	平田 勝章
	//	吉澤 弘迪

県道上生坂信濃松川停車場線(県道275号線)のトンネル整備を求める決議書

生坂村と隣接する池田町・松川村の3町村を結ぶ県道上生坂信濃松川停車場線は、国道19号と国道147号を繋ぐ重要な道路として、地域の生活・文化・産業・経済・物流の発展において多大な重責を担っています。そして、生坂村にとっても村民の通勤・通学や通院、買物など生活を支える地域に密着し、無くてはならない生活路線であり、特に直近の二次医療圏である北アルプス医療センターあづみ病院までの緊急搬送路として、命を運ぶ極めて重要な役割を持つ道路となっています。

しかしながら、急峻な地形のうえ幅員も狭小で、急勾配、急カーブが多い道路形状のため救急搬送の際に病状によれば救急車の通行に支障があるとともに、自動車等による通行の難度が高く、特に冬期間はいっそう困難となるうえ、近年では降雨や降雪、融雪による土砂崩落や倒木等が発生し、通行止めとなる事態が頻発しています。

このような状況から、村民をはじめとする地域住民と、利用される全ての方がいつでも安全で安心して通行できる、災害に強い道路環境の早期整備が必要であり、県道上生坂信濃松川停車場線のトンネル整備について、早期実現を強く要望します。

以上、決議します。

令和6年9月19日

生坂村議会

県道275号線のトンネル整備は生坂村村民の悲願です。特に中部、北部の住民にとって、医療機関や生活用品の購入に欠かせない生活道路であり、年間を通して安全に走行できることは住民生活の安心に繋がります。これまで村・議会・地域で

期成同盟や池生やまびこ会でトンネル整備の必要性について訴え、国・県へ要望活動をおこなってきました。この度、生坂村・池田町両議会、改めてこの路線のトンネル整備が住民生活において重要であるという意志を示し、村民の皆様の悲願を強く

伝えていく事が大事と考え決議を提出致しました。当議会では必要性や費用対効果、環境等について疑義が有り全員の名前を連ねて提出できなかったことは、村を守り、前に進める立場にある議会として非常に残念ではありましたが採決では全員賛成となり決議に基づいた要望書を県へ提出致します。

生坂村議会議員 太田 譲



(8月6・7日)

中央要望

8月6～7日にかけて、村長に同行頂き、6日は総務省（財務調査課長）・国土交通省（上下水道審議官・技監・環境省（大臣官房審議官）へそれぞれ伺い、議長が要望内容を説明し要望書を手渡しました。7日はWOTA（日本橋）と生活クラブエナジー（日本橋）を視察し、水循環システムと電力供給システムについて説明を受けました。



(8月20日)

池坂やまびこ会

「池坂トンネル」建設要望へ池坂やまびこ会新たな一歩

令和6年8月20日例年通り池坂やまびこ会定期総会が開かれました。池坂やまびこ会とは、生坂村・池田町の両議員を中心に、町村の共通課題等について調査、研究し、連帯して行政の発展及び効率的運営に役立ち、議員相互の親睦を図るため結成されたものです。

特に10年以上前から協議事項で取り上げられている「池坂トンネル」実現化について、本定期総会では活発な協議が行われ、私も県に対し強い意思表示が必要と再確認しました。これにより生坂村議会と池田町議会は、それぞれ開かれた9月定例会最終日の本会議で、両町村を結ぶ県道上生坂信濃松川停車場線へのトンネル（仮称・池坂トンネル）の建設を県に求める決議をしました。決議議案は全員賛成、両町村の決議が認められました。※P11参照

この決議を機に「池坂トンネル」実現化に向けての、新たな第1歩として池坂やまびこ会の活動をしていきます。総務建経委員長 山本 吉人



(8月21日)

東筑摩郡議員大会

8月21日に東筑5村の議員が集い各村の課題（主に道路関係）の要望内容を共有し、国・県等へ要望を行う決議をしました。

当村は「下生野く明科間の県道整備（支障木伐採・待避所設置）」と「国道19号下生野地籍の歩道改修（通学の安全確保・内水氾濫対策の排水強化）」について提出し承認されました。

(8月25～28日)

議会行政視察



村の観光振興へ繋がる事例として「五ヶ山ベース」と「フォレストアドベンチャー・吉野ケ里」の施設体験をおこない那珂川市の職員、吉野ケ里町の職員の方々に運営や経緯について説明を受けました。また、村が本年から取り組んでいる「第2のふるさとプロジェクト」の先進地である東峰村で視察をおこないました。

あづみのランドの紹介

施設の老朽化により大規模改修をおこなった穂高広域施設組合余熱利用施設「あづみのランド」の浴室とサウナをご紹介します。興味を持たれた方は是非、足を運んでみてください。

「シルクの湯」微細なバブルで満たされた浴槽で、ジェット浴・変わり湯・水風呂などがあります。



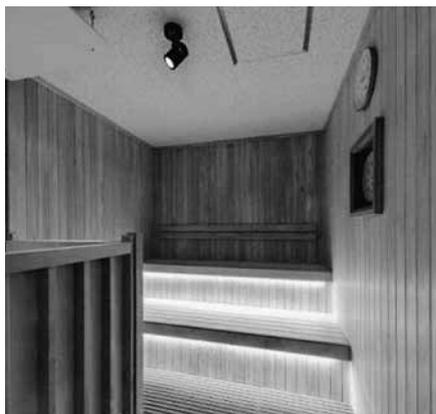
シルクの湯

「ひのきの湯」側壁に檜を使用し、浴室全体にひのきの香りがします。浴槽は、ジェット浴・変わり湯・水風呂などがあります。



ひのきの湯

「サウナ」ひのきの湯・シルクの湯、それぞれに最新のサウナが設置されています。



サウナ室

営業日：毎週火曜日～日曜日の午後1時30分～午後9時まで
 休刊日：毎週月曜日（月曜が祝祭日の場合、翌火曜日）
 ※年間カレンダーはあづみのランドHPをご覧ください。

議 会 日 誌

(主なものを掲載)

8月

- 2日 赤とんぼフェスティバル実行委員・区長合同会議
- 6～7日 中央要望(東京)
- 9日 いくさか敬老の日実行委員会
東筑摩郡村議会議長会臨時総会
- 16日 やまなみ荘定例会
- 21日 第75回東筑摩郡村議会議員大会
- 22日 道の駅いくさかの郷定例会
- 25～28日 議会行政視察(九州)
- 29日 大町麻績インター千曲線整備促進期成同盟会県要望(長野市)
ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 30日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
議会運営委員会
長野県道路整備期成同盟会総会(長野市)
例月出納検査

- 18日 道の駅いくさかの郷定例会
- 19日 本会議・追加議案・閉会
議会全員協議会・議会改革 検討会
- 24日 長野県町村議会議長会政務調査会(長野市)
生坂農業未来創りプロジェクト会議
ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 27日 例月出納検査
- 28日 中学校 かしわ祭
- 28～30日 標津町との交流(北海道)

10月

- 11日 全員協議会
- 16日 いくさかの郷定例会
- 17日 やまなみ荘定例会
- 18日 長野県町村議会議長会第39回定期総会
- 21日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 22日 山形村150周年式典
- 22～23日 全国監査委員研修会
- 28日 穂高広域議会
- 29日 東筑摩郡村議会議員交流会
- 30日 松本広域連合議会常任委員会視察
生坂農業プロジェクト会議

9月

- 1日 中信地区私学助成に係る要望
- 5日 議会全委員協議会
- 10日 9月定例会 閉会
- 11日 本会議・一般質問
- 12日 総務建経常任委員会
- 13日 社会文教常任委員会
- 13日 やまなみ荘定例会

平林 秀貴さん
上生坂在住
安曇養護学校勤務



教師をしていて特に思い出に残っている出来事は何かありますか。
中学校でバスケットボール部の顧問した時、県大会出場出来た事がとても嬉しかった。生徒たちとのいい思い出になりました。

生坂村の子育て環境はどう感じていますか。

子供達への補助が多く助かっている。

保育料が無償、学校給食が無償、高校生の通学バスの無償など3人の子育て中の自分としては本当にありがたいです。

平林さんにとって生坂村のいいと思うところはありますか。

やっぱり自然が豊かで、のんびりできて心が落ち着くところですかね。あと趣味に没頭出来ること、これも嬉しいですね。

プロ顔負けの腕と聞いています。家族の車からご自身の愛車まで全て自分で修理して車検をとることで、本当に凄いです。

最後にこれからの生坂村に望むことはありますか。

子育て環境をさらに良くして欲しい。村の最大の問題でもある人口減少の歯止めにも繋がると思います。村がいつまでも住みやすいままでいられるようお願いしたいと思います。ありがとうございます。インタビューしたのは、中学校までずっと一緒だった山本議員でした。

議会改革検討会

R5年4月から議員の「資質」と「報酬」について優先検討事項として協議してきました。議員報酬については、議会内の意見や昨夏のアンケート結果も参考にして協議を重ね①改正当初の様に若者がしやすい環境を考え現状維持。②年齢関係なく村の事を真剣に考えしてくれる人が出てもらう為に一律にしてベースを上げる。の2案まで絞られました。今後この2案についてさらに検討をして【2案】になった場合には「特別職報酬等審議会」の設置を村長に求めたいと思います。

表紙の写真のお願い

議会だよりの表紙の写真は、イベント等で議会編集委員が撮影した写真を許可なく掲載をする場合がありますが、掲載許可のご協力をお願い致します。

編集後記

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆さんはこの秋を堪能されていますか。私はというと、三男が昨年の春から始めたバスケットボールに週4日サポーターするというのが継続中。娘との時間がとれず、私の癒しと娘の遊び相手に子犬を迎えました。もうすぐ8か月、絶賛反抗期中です。子供達が赤ちゃんだった頃の子育てと同じだなあと懐かしく過ごしています。

さて、議会だよりの編集には毎回難しさを感じています。何を書く?どこまで書く?などなど…。だいが煮詰まっているので、なにかヒントを頂けたら嬉しく思います。

(藤澤幸恵)

編集・発行責任者

議長 太田 譲

編集委員

委員長 藤澤 幸恵
副委員長 宇引 文威
委員 島 幸恵
山本 吉人
平田 勝章